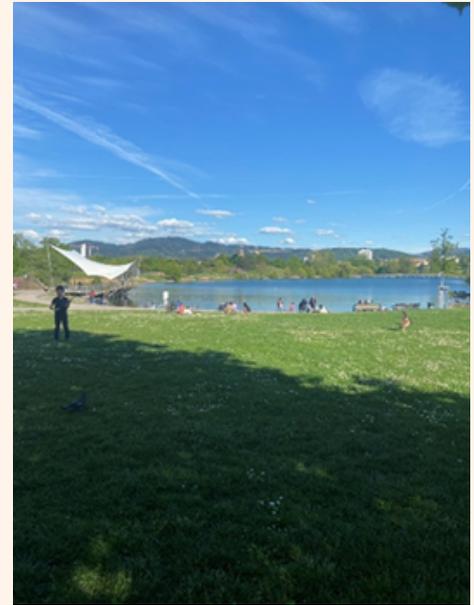


フライブルク大学 (ドイツ)

長い春休みも終わり、4月22日から夏学期が始まりました。ドイツの春は本当にきれいで、寮の近くの大きな公園ではみんな泳いだり、ランニングしたり、ピクニックしたりと思い思いの時間を過ごしています。気候は、北海道や長野の避暑地のような気候です。

長い3か月の春休みの間に、本当に色々な場所を訪れ、色々な考え方や価値観に触れ、たくさんの発見がありました。そして、フライブルク大学で学べるのも残り3か月となってしまいました。

本当にフライブルクで出会った友達が好きで、もっともっと長くいたいなと思っているくらいです。あと少ししかありませんが、授業も積極的に参加し、友達もたくさんの思い出を作りたいなと思います。



ヒューロン大学 (カナダ)

私を含めた交換留学生が3人もう帰国するというので、友人たちにフェアウェルパーティを開催してもらいました。友人の家で行ったのですが、みんなでパーティゲームをしたりご飯を食べたりお菓子を食ったりと最後にワイワイと過ごすことができました。テストが終わった後はほぼ毎日のように人と会い、最後に手紙やちょっとしたお菓子を渡し、感謝の気持ちを伝えました。

改めて振り返り、この8か月間は友人たちのサポートがなければ成り立たなかったです。人とのつながりやコネクションは本当に大切に、積極的に話しかけたり、仲良くなろうと努力をすることができて本当に良かったです。たくさんの良い人に恵まれて、その人たちに最後に感謝を伝えることができてよかったです。

また、最後ということで思い出深いカフェへ行ったり、ロンドン1美味しいと思うアイス屋さんに行ったり、お土産を買いに行ったりと最後の数週間は忙しく過ごしていました。

サウスカロライナ大学 (アメリカ)

4月半ばに私の誕生日があり、テストで忙しくなる期間の中、私のお友達(4人)がお泊まりサプライズ誕生日パーティーを当日開いてくれました。

お泊まり会をしようということは話していたのですが、本格的な誕生日会を計画してくれてプレゼントも私が好きなものや欲しがっていたものを用意してくれていました。風船の飾り付けやケーキも手作りで当日朝から作ってくれて感動の連続でした。

日本にいる時よりは質素な誕生日になるかも、となんとなく思っていたのでいい意味で期待を裏切られて一生記憶に残る誕生日になったのではないかなと思います。

翌日は車で30分ほどのところにあるSavannah Riverにてはじめてキャックをしに行きました。これもまたサプライズで行ったのですが天気も良く景色がとっても綺麗でした。日本ではなかなかする機会がないのでこの地域だからこそ経験できるアクティビティーに挑戦できてよかったなと思います。



ヤゲウォー大学 (ポーランド)

授業の予習に今まで以上に力を入れています。予習が要求されるというのもありますし、マスターレベルの授業なのでしっかり内容についていくために欠かさないようにしています。前semesterよりも授業慣れたせいか、少しだけ余裕が出てきた気がします。

とはいえ、授業を100パーセント一度に理解するのは今の私だと困難なので、復習を含めてすべてでついていけるようにしています。特にreconstructionの授業は私が院で学びたいと思っている分野なのでこれからも特に力を入れていきたいと考えています。

エトヴェシュローランド大学 (ハンガリー)

私が留学しているエトヴェシュローランド大学 (ELTE) には、日本学科があります。今回は3年生のクラスにボランティアとして参加しました。日本語そのもの (文法) について学ぶというよりは、会話中心のクラスで、日本語を基に自分の体験談を話します。日本語ボランティアは日本学科の先生が運営しているFacebookページで告知され、毎週ではなく自分の都合が合う日に参加することができます。このボランティアは私が留学中にやりたいことの1つだったので、ついに参加することができて嬉しかったです。

【今回の授業テーマ】 夢、目標、目的の違い

正直日本語でも考えたことないよ、、、 (笑) と思いましたが、細かなニュアンスを他の受講生と言語化する中で、私にはない視点が沢山あってとても面白かったです。

「目標」と「目的 (ゴール)」の延長線上に「夢」があると考えるグループもあれば、「夢」は現実とは別世界のもので、曖昧・手が届かない感じ、一方で「目標」と「目的 (ゴール)」は現実的と考えるグループもありました。細かなニュアンスの違いを絵にすることで、各グループの頭の中が見えてなるほど! と思いました。日本語を学び始めてたった3年でここまで踏み込んだ議論を日本語でできるなんてすごすぎます。

